イベントルール

イベントルールを使用すると、サポートされているデバイスイベントへの対応を自動化できます。
ダッシュボード → イベントルール
を開き、登録、登録解除、コンプライアンス違反、ジオフェンスイベント（ Android および Apple デバイス。ジオフェンスイベントは Android デバイス、 iPhone、iPad
から送信されます）を監視するルールを作成して、 1 つ以上のアクションを自動的にトリガーします。

イベントルールでできること
各ルールは、 対象 、イベント 、および 1つまたは 2つの アクション
を組み合わせます。サポートされている対象は、 すべてのデバイス 、特定のデバイス 、および ポリシー
です。

イベント :
デバイスの登録、デバイスの登録解除、デバイスの非準拠化、ジオフェンスへの進入、ジオフェン
スからの退出。
デバイスアクション : デバイスの無効化、デバイスの有効化、デバイスのロック。
メールアクション :
管理者に通知メールを送信し、有効になっている場合は委任されたマネージャーにも送信します。

ルールには、メールアクションのみ、デバイスアクションのみ、または 1つのデバイスアクションと 1
つのメールアクションを含めることができます。両方のアクションが構成されている場合、 Cerberus
Enterpriseはデバイスアクションを先に実行し、次にメールアクションを実行します。

プラットフォームと互換性のルール
使用可能なイベントとアクションは、選択した対象と、その対象に適用されるプラットフォームによって異
なります。

Androidは、登録、登録解除、非準拠、ジオフェンスイベントに対応しています。
Apple
は、登録、登録解除、非準拠、ジオフェンスイベントに対応しています。ジオフェンスイベントは
、Cerberus Enterpriseアプリをインストールした iPhoneおよび iPadから送信されます。
デバイスを無効化 は Android と Apple の両方で利用できます。監視対象の iPhone と iPad
では紛失モードがオンになります。それ以外の Apple デバイスは代わりにロックされます（ Mac

では 6 桁の PIN
で、デバイスのコマンド履歴に表示されます）。紛失モードはデバイスページからオフにします。
デバイスを有効化 は、 AndroidとAppleのジオフェンスイベントでのみ提供されます。 iPhone
および iPadではロストモードがオフになります。
デバイスを無効化 と デバイスを有効化 は、紛失モードの Android
デバイスを対象外とします。紛失モードから解除できるのは 紛失モードを無効化
コマンドのみです。ルールの他のアクションは引き続き実行され、デバイス
アクションが対象外となった理由がシステム ログに記録されます。
デバイスをロック とメールを送信 は、選択したイベントが対応している場合、 Android と Apple
の両方で利用できます。 Mac は 6 桁の PIN でロックされ、その PIN
はデバイスのコマンド履歴に表示されます。
デバイス登録解除 はメールのみに対応しています。

ルール一覧
イベントルール一覧は、この機能のメイン管理ページです。ルール名、対象、イベント、アクション、プラ
ットフォーム、有効状態、更新時刻を含む検索可能なテーブルが表示されます。

フィルターチップを使用して、すべてのルール、有効なルール、無効なルール、テキスト検索を切
り替えます。
更新 ボタンを使用して、現在のテーブル表示を再読み込みします。
各行の有効スイッチを使用して、ルールを一時的に有効または無効にできます。複数行選択モードを使用して、複数のルールをまとめて削除できます。
イベントルールを作成 を使用して、新しいルールのエディターを開きます。

ルールエディター
エディターは、 一般 、スコープ 、トリガー 、アクションの各セクションに分かれています。ページ下部の固定アクションバーにより、スクロール中もメインボタンが表示されたままになります。

一般

名前 ：必須、最大 150文字。
説明 ：任意、最大 2000文字。
ルールを有効化 ：ルールを有効または無効の状態で保存します。

スコープ

スコープは、ルールが一致できるデバイスを定義します。エディターには、解決されたプラットフォームと
、利用可能な場合は有効なポリシーコンテキストも表示されます。

すべてのデバイス ：エンタープライズ内のサポート対象のすべてのデバイスに一致できます。
特定のデバイス ：選択ダイアログから管理対象デバイスを 1台選択します。
ポリシー ：選択ダイアログからポリシーテンプレートを 1つ選択します。

トリガー

トリガーセクションでは、選択したスコープとプラットフォームに基づいて、利用可能なイベントが自動的
に絞り込まれます。

ジオフェンストリガー

ジオフェンスへの入場と退場のルールは、 Android デバイス、 iPhone、 iPad で機能し、デバイスまたはポリシーに対するルールには有効なポリシーコンテキストが必要です。ジオフェ

ンスの定義については、 位置情報とジオフェンス （Android）と 位置情報とジオフェンス （Apple ）を参照してください。

対象が すべてのデバイス の場合、ルールは常に 任意のジオフェンス に適用されます。
対象がデバイスまたはポリシーの場合、 任意のジオフェンス または 特定のジオフェンス を 1
つ選択できます。
特定のジオフェンスの一覧は、選択したデバイスまたはポリシーの有効なポリシーコンテキストか
ら読み込まれます。
iPhoneおよび iPad
でジオフェンスが利用可能になる前に保存されたすべてのデバイス向けジオフェンスルールは、引
き続き Androidデバイスにのみ適用されます。 Apple
デバイスにも適用するには、ルールを開いて再度保存してください。

アクション

アクション セクションでは、オプションのデバイス
アクションとオプションのメール通知を選択できます。サポートされていない組み合わせは UI で自動的に非表示になります。メール通知はデフォルトでオンになっており、デバイス
アクションを選択した場合も同様です。デバイス アクションのみを実行する場合はオフにしてください。

選択したイベントとスコープで利用可能なデバイスアクションがない場合でも、メールのみのルー
ルを保存できます。
選択したイベントとプラットフォームでメールが無効になっている場合、メールの切り替えは使用
できません。
アクションのないルールは無効であり、保存できません。

メール受信者
メールアクションには、常に ADMIN ロールを持つエンタープライズユーザーが含まれます。エンタープライズがマルチテナンシーで管理されて
いる場合は、受信者を拡張して MTマネージャーを含めることができます。

メインマネージャーのみ ：エンタープライズ管理者と主要な MT マネージャーの連絡先が含まれます。
メインマネージャーとサブアカウントマネージャー
：割り当てられたサブアカウントマネージャーも追加されます。
プレビュー一覧には、ルールの実行時に使用される実際のメールアドレスが表示されます。最終的な受信者一覧には、エンタープライズへのアクセスが許可された委任マネージャーのみが含
まれます。

実行時の動作
イベントルールは、 Cerberus Enterprise がバックエンド連携からサポート対象のイベントを受信するとすぐに実行されます。無効なルールは自動的
にスキップされます。

成功、スキップ、失敗した実行は、人間が読めるメッセージとともにシステム
ログに記録されます。ルールまたはデバイス アクションがスキップされた場合はその理由も含まれます。

システムログでは、デバイスのステータスと位置情報のイベント、および成功またはスキップされた
ルールの実行が 90日間
保持されます。管理者の操作、サインイン、警告、エラー（失敗したルールの実行を含む）などのそ
の他のイベントは 12か月間 保持されます。それより古いエントリは毎晩自動的に削除されます。

Revision #21
Created 2026-06-11 16:20:56 UTC by Admin
Updated 2026-11-12 09:55:40 UTC by Admin